

広島大学短期交換留学（HUSA・USAC）プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 29年 7月 17日			
所属学部・研究科	教育 学部／研究科 3 年次（留学開始時点）			
留 学 先 大 学	Intensive English Language Center・ネバダ大学リノ校（国名： アメリカ ）			
所属学部・学科等名	IELC・教育学部			
在 籍 身 分	交換留学生			
留 学 期 間	平成 29年 8月 23 日～平成 29年 5月 18 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類： F1			
	ビザ申請先： アメリカ・大阪領事館			
	取得方法, 提出書類：			
	手続きに要した日数：一ヶ月			
その他必要な事前手続き	予防接種など			
出 国 年 月 日	平成 28年 8月 22 日			
経 路	関西空港→成田空港→ロサンゼルス→リノ			
現 地 での 出 迎 え	<input checked="" type="checkbox"/> 有（・大学関係者 ・その他 インターナショナルハウス関係者） <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	IELC スタッフによるオリエンテーション（二日間） クラス分けのためのプレイズメントテストや大学生活についての説明がある デビッドカードなどの作成も行うことができる			
帰 国 年 月 日	平成 29年 6月 1日			
経 路	リノ→ロサンゼルス→成田			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	170万	円	
	内訳	渡航費	15万	円
		保険料	10万	円
		教科書代(学費)	5万	円
		宿舍費	50万	円
		食費	40万	円
		その他（ 旅行 費）	50万	円
（ 費）		円		
（ 費）		円		

3. 授業について	
2016年 秋 学期	8 月 23 日 ~ 12 月 20 日
年 学期	1 月 20 日 ~ 5 月 20 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	IELC では基本的に英語の授業のみをとります。(広島大学で行なっているコミュニケーションの授業を発展させたようなものです)
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	予習・復習をしっかりとやるとテスト期間に余裕を持って勉強できると思います。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	10 畳程度 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (1~2人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨) 約 600~700ドル
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	学校の寮だけではなく、インターナショナルハウス・アパートなど幅広く考えるといいと思います。特にインターナショナルハウスに関しては行ったことのある人に聞くといいともいます。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 10万 円 程度 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	髄膜炎ワクチン (2万円程度) ツベルクリン反応の検査 (数千円)
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	学校のヘルスセンターがあり、気軽に利用できる。	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	乾燥しているので、乾燥肌の人は保湿クリームなどを持っていくといいと思います。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
リノのダウンタウン (夜中に一人で行かない限りは問題ないとは思いますが...) サンフランシスコで22時ぐらいにマクドナルドに行った時に、暴力事件を目撃した。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
場所と時間を選べば、かなり治安のいい地域ではありますが、あまり夜に出歩かない方がいいと思います。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 31 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 30 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input checked="" type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他 (具体的に ゼミの単位を取得できなかったため)	
現在の状況および今後の予定・進路等		
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	ゼミなどの単位に関しては留学前に指導教官の先生と十分に話しておくことをオススメします。また留学自体や広島大学の留学制度に理解がある先生のゼミを前もって選択することも重要だと思います。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
留学中にプログラムをUSACからHUSAに変更しました。留学には様々な形があると思うので、柔軟に物事を考え、主体的に行動するとより良い留学になると思います。		

学習の概要に関するレポート

留学中にプログラムを USAC プログラムから HUSA プログラムに変更したので、その両方について書きます。

USAC プログラム (Intensive English Language Center, IELC)

IELC はネバダ大学リノ校の敷地内に位置している、英語を第二言語としている人が、アメリカの大学に入るために必要な能力を学ぶ施設です。世界各国 (アジアが中心・日本人の割合もかなり多いです) から学生が集まり、英語の基礎を学んでいます。

学期の初めにクラス分けをするための簡単なテストがあり、その結果に応じてクラス分けがなされ、レベル別に授業が行われます。レベルは四段階あり、一番上のレベルにいる学生は非常に能力が高いという印象を受けました。ちなみに、私は上から二番目のクラスに振り分けられました。

授業は午前中に、1 時間半程度の総合的な英語の能力の向上を図るクラスがあり、午後にリスニング・スピーキングのクラスとリーディング・ライティングのクラスが各 1 時間半あります。金曜日には他のクラスの人と交流できるイベントなどがあります。ここで多くの友達を作ることができると思います。

HUSA プログラム (ネバダ大学リノ校)

HUSA プログラムでは、学期が始まる前にプレースメントテストがあり、その結果に応じて、英語のクラスを取らなければならないか否かが決まります。私の場合は、取るべきクラスはなく、通常のクラスを四つ (13 単位分) 取りました。取った授業は、French101, Community health science 101, Nevada school law201, Sociology101 の四つで、どのクラスも留学生は自分一人だったと思います。フランス語と Nevada school law のクラスは 20 人~30 人の比較的少ない人数でのクラスで、Community health science と Sociology は 100 人ぐらいの講義形式のクラスでした。講義形式の授業は、日本の授業と同じように発言をする機会はほとんどありません。一方で少人数のクラスでは、先生と生徒との対話形式で授業が進められ、一ヶ月に一回ほどプレゼンもありました。

二つのプログラムを経験して

IELC(USAC)とネバダ大学リノ校 (HUSA) の二つのプログラムを経験し、留学をする際には、プログラムやどの学校を選択するかなど、十分に検討することが重要だと思いました。IELC とネバダ大学リノ校の両者に長所・短所があります。IELC に関しては特に日本人やアジア人が多いので、英語のみを話すという環境ではありませんでした。一方で、初めからクラス全員が英語を母語として話しているクラスの中に入っていくことは容易ではないので、IELC などの機関で実力をつけてからクラスを取るのも一つの手かもしれません。私自身は、ある程度 IELC で英語の能力を向上させた状態で、ネバダ大学の授業を受けることができたので、留学後半をより良いものにできたのではないかと考えています。

生活の概要に関するレポート

・ リノ

リノは人口 20 万人ぐらいの都市です。カジノが有名で、ダウンタウンには大きなカジノが立ち並んでいます。自分の感覚としては、広島大学がある西条に似ていると思います。日常生活をするには困ることはほとんどありませんが、大きい街ではないので、遊ぶ場所は少ないかもしれません。

周辺には、タホ湖やヨセミテ国立公園など自然豊かな場所が多く、ハイキングやアウトドアには行きやすい場所です。サンフランシスコにはバスで 5 時間、ラスベガスには 8 時間ぐらいで行ける場所です。空港が近くにあるので、LA など他の大都市にも比較的簡単にいくことができます。

・ 住居

留学生が住んでいる場所は大きく三つに分けることができます。大学の寮、アパート、インターナショナルハウスです。

その中で、私は大学の寮に住んでいました。寮に住むと、基本的にキッチンがなく（カナダホールのみキッチンが付いています）、ミールプランをつけなければなりません。DC という食堂（バイキング形式）でほぼ毎食、食べていました。個人差はあると思いますが、ミールプランの値段の割には、食べたいものがなかったり、基本的においてある物が同じなので、食事に飽きたりする人もいます。（留学期間中の寮の部屋の解約はほぼ不可能です。ミールプランも人によっては解約が難しいことがあります。）私も食事に飽きたため、寮をピーバインホールからカナダホールに変更しました。変更の手続きは非常に複雑で時間を取られました。

部屋は、2~3 人で一つの部屋をシェアすることになります。稀に留学生同士の部屋もありますが、基本的には現地の学生と同じ部屋になります。そのため問題などもよく起こりますが、その問題も留学の一部だとして捉えれば楽しく過ごせると思います。

・ 冬休み

冬休みは、秋学期と春学期の間の一ヶ月間あります。アパートやインターナショナルハウスに住んでいればほとんど関係ありませんが、学校の寮に住んでいる人は、冬休みの間住む家を改めて探さなければなりません。学校の寮は冬休みの間は閉まってしまい住むことができません。シエラホールだけが開放されお金（約 500 ドル）を払えば住むことができます。シエラホールに元から住んでいる人も追加のお金がかかると思います。

そのため、多くの留学生は、友達の家に住候したり、一ヶ月間かけてアメリカを旅行したりしています。住む場所を決める際にはこのようなことも頭に入れているといいと思います。